

Guide 3 of 5

AIによって 意思決定を拡張する タイミング

ビジネスで効果的な意思決定を行うためのガイド

2025年までに、

現在データを使用している意思決定の95%は、
少なくとも一部が自動化される。

出典：Gartner

Gartner が経営幹部を対象に 2021 年に実施した Reengineering the Decision Survey (意思決定のリエンジニアリングに関するサーベイ) では、回答者の 47% が、その後の 18 カ月間にわたって意思決定がますます複雑になると予想していました。この傾向は、意思決定の品質改善にデータ/アナリティクス (D&A) を適用することへの関心を押し上げています。しかし、企業は意思決定のスピードと精度の向上にも関心を抱いており、そのためには多くの場合、自動化が必要となります。

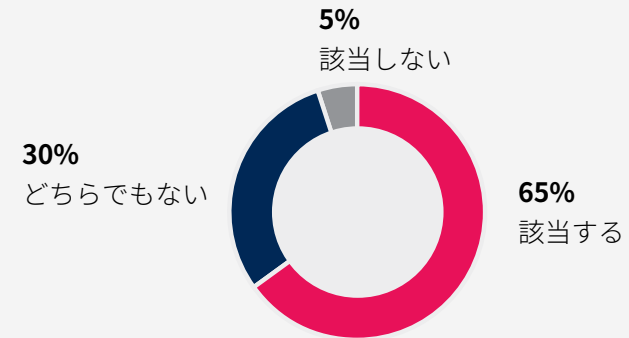
データを利用した意思決定は、さまざまな方法で自動化できますが、ほぼ人手によるものと、完全に自動化されたもの間のどこかに位置することになります。意思決定の自動化をある程度受け入れている企業は、競争優位性を獲得できる可能性が高まります。これは、意思決定の迅速化 (アルゴリズムによる取引は人ベースの取引に比べて市場の変化への対応が早い)、精緻化 (多様な市場シグナルに基づく在庫レベル)、きめ細かさの向上 (顧客区分のマイクロセグメンテーション) を通じて実現します。

D&A リーダーやビジネス・リーダーにとって重要なのは、成果の改善に向けて意思決定の自動化を拡張すべき場所はどこかを理解することです。

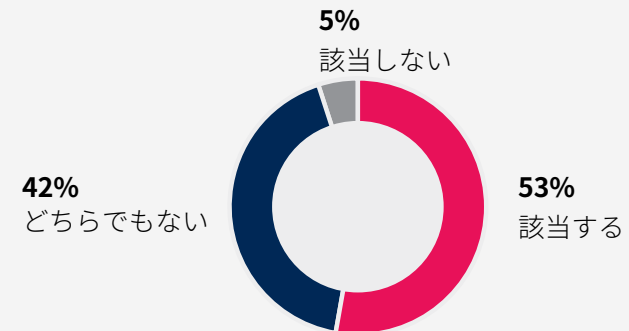


Gareth Herschel
VP Analyst, CDO Leadership

2年前と比べて意思決定は (ステークホルダー、選択肢の面で) 複雑化している



行った意思決定について説明あるいは正当化することが強く求められている



出典: Gartner

本ガイドの活用方法

準備

1

意思決定における自動化の役割を理解します。

確立

2

実際にどのようにして人と人工知能 (AI) を融合させ、ハイブリッド型の意思決定を行うかを把握します。

エンゲージメント

3

意思決定インテリジェンス・フレームワークを使用して、意思決定を拡張／自動化すべきタイミングを評価します。

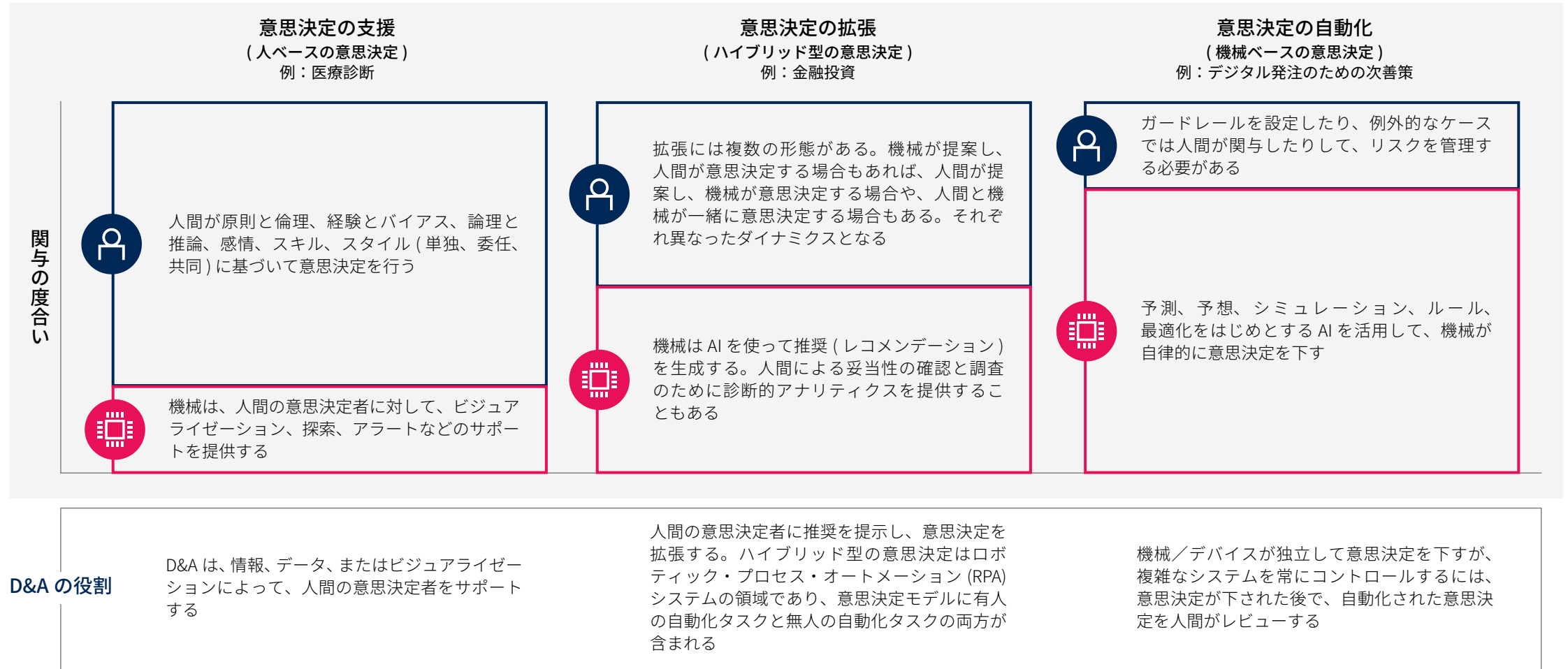
実行に移す際のヒント

4

意思決定インテリジェンスに関する組織のコンピテンシを育むために、意図的に行動します。

準備

意思決定における自動化の役割を理解する



確立

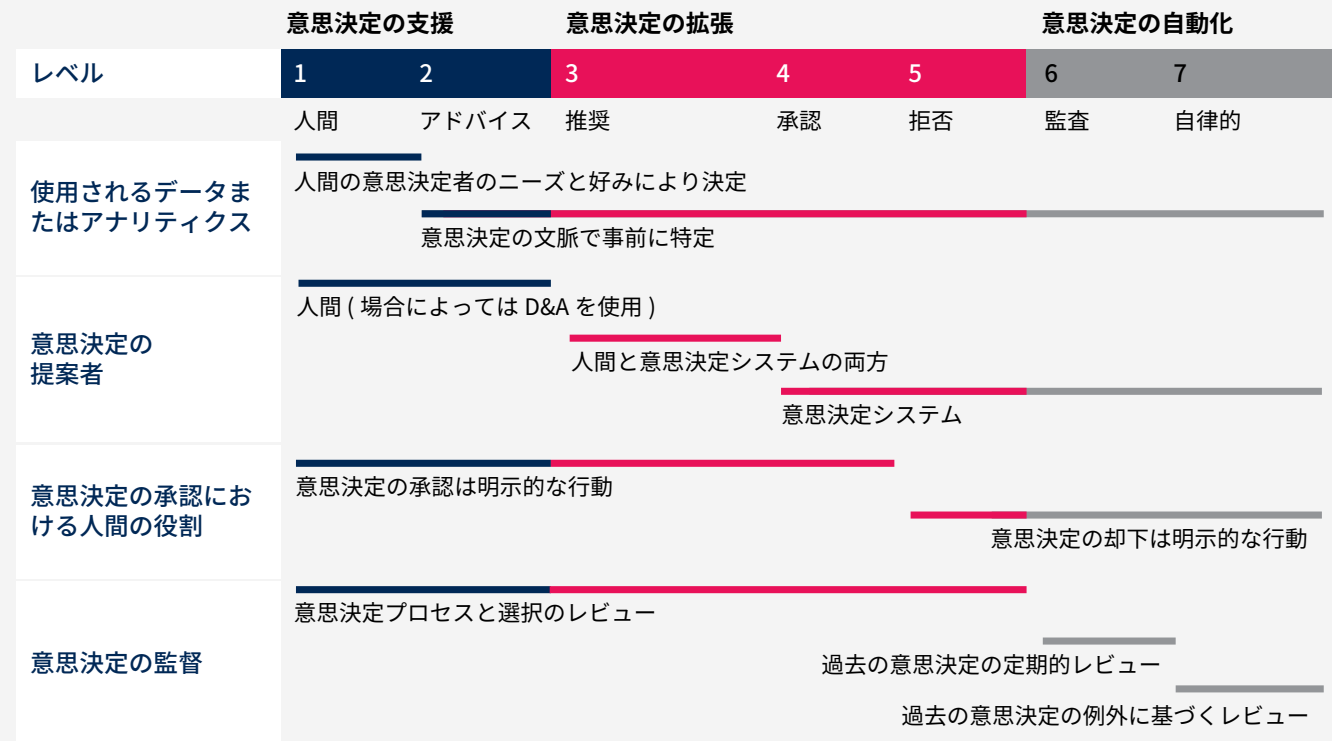
ハイブリッド型の意思決定を実践するための3つの主要ステップ

意思決定の自動化が持つ役割は、意思決定の支援から拡張、自動化に至るまでの移行を定義する「使用されるデータまたはアナリティクス」や「意思決定の提案者」などのカテゴリによって微妙に異なってきます。右に示すフレームワークを用いて、人間が意思決定に関与できる、あるいは関与すべき領域と、必要な投資のタイプを明確にします。

導入に向けた3つの主要ステップ

- 1 技術的な能力ではなく組織のニーズに基づいて、次のレベルへと移行する
- 2 リスクと機会のバランスを取るために、1つの意思決定の中であっても、異なるレベルを融合させる
- 3 レベル7を自動化のベスト・プラクティスあるいは目的と捉えない。最適なレベルは、個々の意思決定や組織文化に応じて異なる

ハイブリッド型の意思決定の7レベル



出典：Gartner


エンゲージメント

意思決定インテリジェンス・フレームワークを活用する

Gartner の意思決定インテリジェンス・フレームワークは、意思決定フローの各段階を支援／拡張／自動化するために必要なコンポーネントの設計 (再設計) と適用について詳細に示し、意思決定のモデリングを行うことを支援します。


意思決定インテリジェンス

Gartner の意思決定インテリジェンス・コンポーネント

 **人間**：バイアスと目標を持つアクターが意思決定を下し、サポート

アナリティクス：意思決定をサポート、拡張、自動化

データ：意思決定に情報提供

 **AI**：目標とバイアスを持つアクターが意思決定を下し、サポート

アプリケーション：意思決定の順序付け

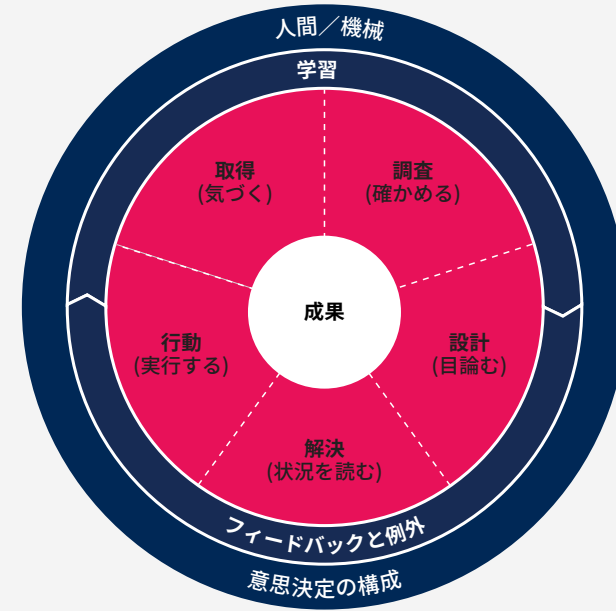
データ・ファブリック



共有情報 /
データ・アーキテクチャ

出典：Gartner

Gartner の意思決定インテリジェンス・ループ (あらゆる意思決定は同じ5つの段階を経る)







実行に移す際のヒント

意思決定インテリジェンスを高めるために行動する

意思決定を識別し、優先順位を設定し、モデル化し、改善に向けてエンジニアリング（リエンジニアリング）する能力（すなわち意思決定インテリジェンス）は、ディスラプションに対応できるレジリエントな組織にとって欠かせないコンピテンシとなります。

推奨される行動：

-  ビジネス・クリティカルな意思決定の改善が必須で、よりデータ・ドリブなサポートやAIによる拡張が必要な領域、または自動化を通じて意思決定を拡張および加速できる領域において、意思決定インテリジェンスの採用を開始する（あるいは、現在の意思決定に対する不満が最も大きい領域から開始する。これにより、早期の成果が得られる可能性があるためである）
-  再利用可能でコンポーザブルな意思決定フレームワークを用いて、意思決定インテリジェンスの組織的能力を構築する。これにより、データ・ドリブな組織は、データを最大限に活用できるようになる。そしてデータが洞察に変わり、ビジネス・パフォーマンスにおける改善点や、ミッション・クリティカルな優先課題の達成を目指すことができる
-  現在の意思決定の方法と、そのリエンジニアリングの方法を明確に理解してからモデル化し、人間またはAIによる意思決定能力と、結果を測定するフィードバック・ループを組み込むことで、意思決定を向上させる
-  意思決定インテリジェンスのエンジニアリングを通じて改善可能な重要な意思決定を、意思決定者と協力して特定できるエキスパートを採用するか、スキルアップすることで、意思決定エンジニアの役割を創設することを検討する

実用的で客観的な知見

より良いビジネス上の意思決定を下すために、
以下のようなリソース／ツールを無償でご利用いただけます。

Roadmap

[Enhance Your Roadmap for Data and Analytics Governance \(英語\)](#)

適切なガバナンス基盤を設置します。

Webinar

[データ・ドリブンな企業になるには、誰が何をすれば良いのか](#)

戦略とオペレーティング・モデルを結び付けます。

Resource Hub

[最高データ／アナリティクス責任者 \(CDAO\) の焦点：データ／アナリティクス主導のリーダーシップを確立](#)

D&A を活用して競争優位性を高めます。

Roadmap

[データ／アナリティクスの活用でデジタル化による成長を推進](#)

D&A のベスト・プラクティスに従って戦略を策定します。

本 eBook「AI によって意思決定を拡張するタイミング」は、「ビジネスで効果的な意思決定を行うためのガイド」シリーズ全五巻の第三巻です。意思決定の継続的な改善を行うために、本シリーズをお役立てください。

シリーズ [ビジネスで効果的な意思決定を行うためのガイド【全五巻】](#) - 日本語版順次公開予定

1. 意思決定プロセスの課題と着手すべきアクション
2. 価値に基づくデータ／アナリティクスの優先順位付け
3. AI によって意思決定を拡張するタイミング (本 eBook)
4. [Understand the Role of Data Fabric](#)
5. [Incorporating the Skills and Capabilities Your D&A Organization Needs](#)

Gartner のお客様は クライアント・ポータルでさらに多くのリソースをご利用いただけます。 [ログイン](#)

Connect With Us

ガートナーは、経営幹部およびそのチームに対し、実行可能かつ客観的な知見を提供しています。ガートナーの深い専門知識によるガイダンスやツールは、組織のミッション・クリティカルなビジネス課題についてより迅速でスマートな意思決定を下し、より大きな成果を獲得することを可能にします。

弊社リサーチサービスに関するお問い合わせ先

E-Mail : japan.sales@gartner.com

ビジネスを成功に導く Gartner のサービス

www.gartner.co.jp/ja/information-technology

最新の知見をご確認ください

